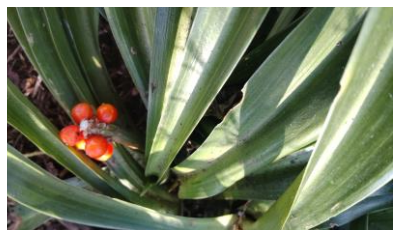


こんにちは ふるいち順子です

※私からのお願い※ このニュースをお読みいただくことが大きな支えになります。ぜひ、読んでいただける方をご紹介ください。

発行 古市 順子 真田町本原(竹室) 2543-3 ☎/FAX 72-3261 メール: huruitij@ued.janis.or.jp ホームページ http://www.ued.or.jp/~huruitij/

NO. 225 2025年1月号



畑の隅に今年も万年青(おもと)が赤い実をつけていました。

(1/3)



新しい年が始まりました。昨年もいろいろとお世話になり、ありがとうございました。今年もよろしくお願いいたします。

能登半島地震から1年が経ちましたが、他の震災と比べても復旧・復興の遅れが突出しています。地震と9月の豪雨災害に見合った支援を、すべきタイミングで行なわなかった国の責任は重大です。日本共産党は2月に「能登半島地震被災者共同支援センター」(責任者・藤野やすふみ元衆院議員)を立ち上げ、募金、物資、ボランティアなど支援を続けてきました。国会質問、国への要請も重ねてきました。保守的な地域ですが、共産党への共感が大きく広がっています。藤野さんは「能登で生きていく希望が持てる政治をつくりたい。」と語っています。

今年は7月に参院選挙が予定されています。日本共産党は5名の比例代表候補を発表し、長野県は井上哲士(さとし)参議院議員です。よろしくお願いいたします。

市政の大きな課題である水道事業広域化については、私は12月議会で一般質問を行いました。【内容は裏面に記載】市民説明会が12/5から12/22まで9回行われ、多くの方が参加され活発にご意見・ご要望が出されたようです。私は真田と中央公民館に参加しましたので、一部ですが下記に記載しました。市も議会も上下水道審議会でも、市民の皆さんの声を十分尊重することが必要ではないでしょうか。

12/15には「上小・東御生活と健康を守る会」の総会と、上田市福祉部長、社協上田地区センター長も出席されて「餅を食べる会」も行われました。(1/3)



元旦正午から上田駅前
宣伝を行いました。今年
は大勢でアピールし
ました。

水道事業広域化の市民説明会で出されたご意見等

(真田中央公民館、上田中央公民館にて 一部記載)

○いろいろ勉強して、市の水道事業が破たんするのかと思っていたがそうではないことがわかった。このまま突っ走ったら、取り返しがつかないことになるのではないかな。

○民間がコントロールする事業運営、「地方自治の空洞化」になるのではないかな…ならない担保はあるのか。

○広域化の議論の進め方は、時間を限って乱暴ではないかな。十分時間をかけて検討してほしい。

○市民説明会は終わりにしないで、またやってほしい。

○(新聞に意見広告を折り込んだ団体の事務局長) 毎日電話がかかってくる。

○12/11 付信濃毎日新聞で、「国の補助は、広域化しなくても、条件付きだが3分の1とする。」という記事があった。広域化でも単独でも同じではないか。単独の場合の財政シミュレーションを再計算するべきではないか。

○現状の課題で専門人材の不足としているが、今まで将来予測は行わなかったのか。広域化しなければ人材確保ができないということか？

答弁:ベテラン職員がいなくなる心配がある。企業団での採用は、水道事業に特化した専門職員となる。

○危機管理体制として、地元密着の方が安全が保たれるのではないかな？

答弁:専門職員が増え、大きな組織で動員力が増す。

○広域化の研究会はなぜ、平成26年に始まったのか？

答弁:平成21年から県企業局から各市町村に移管分割したいということで、検討会が行われた。上田市、長野市はOKだったが、県営水道の割合が坂城町100%、千曲市90%で、職員体制などで受け入れができなかった。そのため検討は中止されたが、この枠組みでの研究会は残された。

○上田市が抜けても、この広域化構想は可能かな？

答弁(長野県水道事業課長)現時点では考えられない。

○広域化ありきの説明になったと思うが、9回の市民説明会を終えての感想はどうか？

答弁(上田市上下水道局長)課題を落とし込んで、解決できる見通し…様々な視点で見ていくことが大事である。今後の判断に活かして行きたい。上下水道審議会の答申を得てから、市長の方向性を示すことができる。

12月議会一般質問と答弁（ふるいち順子）

問水道広域化市民説明会に出されたご意見・ご要望は尊重すべきだが、説明会後どのような対応を考えているか。

答2月に開催予定の第4回協議会において協議し、基本計画(案)として反映させていく。内容は改めて議会へ報告、説明する。また上下水道審議会に報告するとともに、ご意見等を十分踏まえながら、他の構成団体との協議や市の方向性の判断に生かしてまいりたい。

問広域化のデメリット、市民説明会等で出された市民の意見も含め、総合的に判断することが肝要ではないか。また、スケジュールありきではなく、十分時間をかけて検討すべきではないか。

答説明を尽くし、多くの方のご意見をお聞きしていく。また上田市上下水道審議会においては、慎重なご審議をいただいた上で答申をいただき、さらに市民や市議会のご意見なども踏まえながら、上田市としての広域化の方向性を総合的に判断してまいります。【市長】

問広域化は水利権をはじめとする水道資産を企業団に引き継ぎこととなり、水の自治を失うが、見解はどうか。

答水道を将来にわたって守っていくためには、企業団の重要な事項を協議するため、市町の長、首長等で構成する運営協議会が設置される。上田市議会の選出議員などで構成される企業団議会の協議もある。上田市の意向を反映し、関与できる組織体制を築いていきたいと考えている。【市長】

問この広域化の枠組みは、「平成26年から研究してきた。」と地域協議会の説明資料にある。しかし今年6月議会での私の質問への答弁は「令和3年7月に研究会を発足し検討を開始」としているが、違いについて説明を求める。

答この構成団体において水道事業の将来について検討を始めたのが平成26年で、結果として令和3年度からの広域化の検討につながった。説明資料では、現在の広域化に至っている取組の始まりをお伝えしたものです。

問市の現在の水道料金は県内で低い方だが、計画的な管路更新事業費などを先送りしてきたためか。

答これまでは資産維持費は償却資産に対する率という考え方ではなく、内部留保資金をどれだけ確保するかに主眼を置いてきた。今年度の上下水道審議会の中では、資産に対して一定程度、将来にわたって同じような負担をとということで、資産維持率という考え方に変わってきた。今回の料金改定においては、資産維持率を償却資産の1%ということで、最終的には決着したものです。

問今定例会には18.5%の引き上げ案が提案されているが、市の失政ともいえる事情から、物価高で苦しんでいる中で大幅に引き上げることに、市民の理解が得られると考えているか。また、その方策はどうか。

答エネルギーコストや労務単価の上昇、資材費などの物価高騰によって経営状況は厳しさを増している。今回の改定の大きな要因となっている。また、管路更新率や耐震化率等については全国平均を下回り、さらには今後は高度経済成長期に一斉に整備した管路等の更新需要が増加していく。したがって、より適正な維持管理費用、更新費用を見込んだ料金体系へと変えていくことが必要となってきた。料金改定の内容について、「広報うえだ」やSNSによる周知、また検針時のチラシの配布なども行っ、水道事業の現状なども含め分かりやすい広報に努め、料金改定の必要性を説明してまいりたい。

問県営水道では、生活保護世帯とひとり親世帯を対象に、水道料金の減額を実施している。また、障がいのある方の減額を実施している自治体もある。他自治体の例を研究して減額制度を導入すべきではないか。

答合併前の上田市において、生活保護者や母子家庭への減免を行っていたが、水道事業は公営企業として運営されており、減免を行うことは、その分を他の利用者が負担することになり、公平性を欠くというような理由から、合併後の料金統一の際に廃止された。現状はサービス課の窓口で納付相談をお受けし、適切な福祉サービスへつなぐなど、個々に対応している。今後、県内の自治体の例も研究してまいりたい。

前号からの活動報告

- 12/22 水道事業広域化市民説明会(中央公民館)
- 12/23 上田駅前宣伝
- 12/23 上田リバーズ会議[公共交通クロスセンター効果]
- 12/26 上小東御社会保障推進協議会総会打ち合わせ
- 12/29 東信医療生協年末暮らし助け合い活動
- 1 /1 上田駅前で新年の宣伝
- 1 /2 竹室自治会定期総会
- 1 /3 竹室農業振興組合総会

これからの予定(1/3現在)

- 1 /8~9 日本共産党市議団行政視察【野洲市、奈良市】
- 1 /12 上田市二十歳を祝う式【真田中央公民館】
- 1 /14 上小東御生活と健康を守る会理事会
- 1 /15 東信5市議会議員研修会(東御市)
- 1 /17 上田市議会広報広聴委員会

我が家の庭だより

今年は年末に、一番小さな3歳の孫がインフルエンザになってしまい、少し寂しいお年取りと新年でした。いとこ達が、その子の好きなアンパンマンやドラえもん、トーマス機関車などの絵を書いて、プレゼントしてくれました。とても喜んでくれたようです。元氣になった頃、写真を撮りました
大晦日には、今年も中学2年の孫娘がおせちづくりの手伝いに来てくれました。孫が一番好きで、皆に喜ばれる品は、伊達巻です。卵とはんぺんと調味料をミキサーにかけて焼くのですが、今年はグリルでなくフライパンでしたところ、1回目は失敗、2回目は火を強くして大成功。もう1本作りました。元旦は孫たちの抱負を聞いて、皆で竹室神社へ初詣に行きました。

